

研究開発課題概要書

1. 課題名(期間)

21世紀の都市像に対応するための都市空間計画技術に関する基礎的研究(平成17年)

2. 主担当者(所属グループ)

阪田知彦(住宅・都市研究グループ)

3. 背景及び目的・必要性

近年、少子・高齢化、地球環境問題、低成長経済、行財政改革、まちづくりに対する住民意識の高まり等、都市を取り巻く環境は大きく動いている。とくに、総人口の減少が現実のものとなるなかで、郊外市街地の衰退、中心市街地の空洞化などの土地利用転換の拡大、必要とされる都市施設の質的・量的変化などが予測され、21世紀の社会・経済情勢に対応した新たな都市像の構築が求められている。

また、これまでの都市計画の諸制度は、経済成長・都市的利用空間の拡大を前提としたものとなっており、非拡大型の新しい都市像を実現するためには、適切な制度の再構築が必要とされる。加えて、空間計画を検討するための各種計画原単位も、生活様式の多様化や高度化などにより見直しをすべきものがあると考えられる。

このため、新たな都市計画の体系化・制度化を念頭に置きながら、次年度以降、21世紀の新たな都市空間計画技術の開発に重点的に取り組むための基礎的な研究を行うものである。

4. 研究開発の概要・範囲

新たな都市像に関する既提案の整理・評価

原単位などをはじめとする空間計画上の問題点の整理

地方公共団体における都市計画業務の分析と計画技術上の問題の把握

技術開発課題の抽出

5. 達成すべき目標

21世紀の都市像に対応するための都市空間計画技術の動向の整理と技術開発事項の抽出を行い、次期中期計画中の都市計画分野において重点的に取り組む研究課題の抽出を行う。